

# 「世界津波の日」2024高校生サミット in 熊本の開催について

- 熊本地震や令和2年7月豪雨といった大災害の経験や教訓を次世代へ継承して行くことは、本県の大きな使命である。
- 県内外、そして海外の高校生が集い、津波など自然災害の脅威と命を守る対策を学ぶ「世界津波の日」高校生サミットを本県で開催し、次世代の防災・減災を担う人材を育成するとともに、国際交流を促進する。
- また、同サミットを防災推進国民大会（ぼうさいこくたい、主催：内閣府）と同時期に開催することで、相乗効果を図る。

## <本県開催の意義>

### 【「世界津波の日」高校生サミット】

- 2015年、国連総会で11月5日を「世界津波の日」として採択（日本提唱）
- 2016年から「世界津波の日」高校生サミットが始まり、これまで5道県で開催(以下のとおり)

開催年	開催道県	参加者		
		国内	国外	計
2016年	高知県	164名	284名	448名
2017年	沖縄県	149名	174名	323名
2018年	和歌山県	186名	293名	479名
2019年	北海道	249名	257名	506名
2022年	新潟県	226名	* 74名	300名

\*オンライン

### 【本県の状況】

- 熊本地震や令和2年7月豪雨災害をはじめ、大規模災害が発生
- その度に創造的復興を図っており、2023年に「熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設「KIOKU」がオープン、球磨川流域の「緑の流域治水」などの取組も着実に進めているところ

- 本県で開催し、大災害の経験や教訓を国内、そして世界各国の高校生へ継承し、次世代の防災・減災を担う人材の育成等を図る
- 県内外の高校生の国際意識の向上を図り、国際交流を促進する

## <概要>

- 主 催：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会
- 共 催：国連防災機関（UNDRR）神戸事務所
- 後 援：国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官（防災担当）、外務省、文部科学省、国土交通省、気象庁、環境省、経済協力開発機構（OECD）、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）、国際協力機構（JICA）、地球環境戦略研究機関（IGES）
- 開催日：令和6年（2024年）10月23日(水)、24日(木)
- 会 場：熊本城ホール
- 規 模：524名（国内314名（県内：182名/27校、県外：132名/51校））  
（予 定）（海外210名（42カ国・地域））

## プログラム

- 高校生サミット・交流会  
1日目 分科会、開会式、レセプション  
2日目 記念植樹・記念碑除幕式、総会、閉会式
- 関連行事：事前学習  
8月1日、県内高校生向けに、熊本県防災センターにて、防災や英語プレゼン等の事前学習会を開催
- 関連行事：スタディツアー  
サミット開催直前（10月21日(月)・22日(火)）に、海外参加高校生向けのスタディツアーを開催  
熊本市他  
・球磨川流域方面 ・阿蘇方面 ・天草方面



\*出典：「『世界津波の日』2019高校生サミット in 北海道」報告書



# 「世界津波の日」2024高校生サミット in 熊本 国内参加高校／海外参加国・地域

令和6年9月5日現在

## 県内参加校（27校182人）

No.	都道府県	区分	学校名	No.	都道府県	区分	学校名
1	熊本県	公立	済々覺高等学校	15	熊本県	公立	天草高等学校
2	熊本県	公立	熊本高等学校	16	熊本県	公立	上天草高等学校
3	熊本県	公立	第一高等学校	17	熊本県	公立	熊本工業高等学校
4	熊本県	公立	第二高等学校	18	熊本県	公立	玉名工業高等学校
5	熊本県	公立	熊本西高等学校	19	熊本県	公立	南陵高等学校
6	熊本県	公立	熊本北高等学校	20	熊本県	公立	必由館高等学校
7	熊本県	公立	玉名高等学校	21	熊本県	私立	九州学院高等学校
8	熊本県	公立	鹿本高等学校	22	熊本県	私立	開新高等学校
9	熊本県	公立	大津高等学校	23	熊本県	私立	尚綱高等学校
10	熊本県	公立	高森高等学校	24	熊本県	私立	熊本信愛女学院高等学校
11	熊本県	公立	宇土高等学校	25	熊本県	私立	熊本中央高等学校
12	熊本県	公立	八代高等学校	26	熊本県	私立	文徳高等学校
13	熊本県	公立	水俣高等学校	27	熊本県	私立	菊池女子高等学校
14	熊本県	公立	人吉高等学校				

## 県外参加校（51校132人）

No.	都道府県	区分	学校名	No.	都道府県	区分	学校名
1	北海道	公立	北海道浦河高等学校	27	三重県	公立	三重県立四日市高等学校
2	北海道	公立	北海道滝川高等学校	28	三重県	公立	三重県立津工業高等学校
3	北海道	公立	札幌市立札幌旭丘高等学校	29	大阪府	公立	大阪府立高石高等学校
4	北海道	公立	札幌市立札幌開成中等教育学校	30	大阪府	私立	学校法人創価学園関西創価高等学校
5	北海道	私立	学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校	31	兵庫県	国立	神戸大学附属中等教育学校
6	宮城県	公立	宮城県多賀城高等学校	32	兵庫県	公立	兵庫県立明石北高等学校
7	宮城県	公立	宮城県仙台第三高等学校	33	兵庫県	公立	兵庫県立姫路東高等学校
8	宮城県	公立	宮城県仙台第一高等学校	34	兵庫県	私立	学校法人滝川学園滝川高等学校
9	宮城県	公立	宮城県気仙沼高等学校	35	奈良県	国立	奈良女子大学附属田等教育学校
10	栃木県	公立	栃木県立佐野高等学校	36	奈良県	公立	奈良県立畷傍高等学校
11	埼玉県	公立	埼玉県立不動岡高等学校	37	奈良県	私立	学校法人奈良育英学園 奈良育英高等学校
12	東京都	国立	東京学芸大学附属国際中等教育学校	38	和歌山県	公立	和歌山県立耐久高等学校
13	東京都	公立	東京都立国分寺高等学校	39	和歌山県	公立	和歌山県立那賀高等学校
14	東京都	私立	学校法人富士見丘学園 富士見丘高等学校	40	和歌山県	公立	和歌山県立向陽高等学校
15	東京都	私立	学校法人井之頭学園藤村女子高等学校	41	岡山県	公立	岡山県立岡山操山高等学校
16	神奈川県	公立	横浜市立南高等学校	42	愛媛県	公立	愛媛県立松山南高等学校
17	神奈川県	公立	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	43	愛媛県	公立	愛媛県立宇和島東高等学校
18	神奈川県	公立	横浜須賀町立須賀総合高等学校	44	高知県	公立	高知県立室戸高等学校
19	新潟県	公立	新潟県立高田高等学校	45	高知県	公立	高知県立高知国際高等学校
20	新潟県	公立	新潟県立三条高等学校	46	高知県	公立	高知県立大方高等学校
21	新潟県	私立	学校法人石善学園新潟第一高等学校	47	福岡県	公立	北九州市立高等学校
22	石川県	公立	石川県立輪島高等学校	48	福岡県	私立	学校法人明治学園 明治学園中学校・高等学校
23	石川県	公立	石川県立七尾高等学校	49	大分県	公立	大分県立佐伯鶴城高等学校
24	岐阜県	公立	岐阜県立岐南工業高等学校	50	宮崎県	公立	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校
25	静岡県	私立	学校法人新静岡学園 静岡学園高等学校	51	鹿児島県	私立	学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校
26	愛知県	私立	学校法人愛知真和学園因成高等学校				

## 海外参加国・地域（42カ国・地域）

アンゴラ
インド
インドネシア
オーストラリア
オランダ
カナダ
韓国
カンボジア
キリバス
クック諸島
サモア
シンガポール
スリランカ
ソロモン
タイ
台湾
中国
チリ
ツバル
ドイツ
トルコ
トンガ
ナウル
ニュージーランド
バヌアツ
パプアニューギニア
パラオ
フィジー
フィリピン
ブラジル
フランス
ブルネイ
米国
ベトナム
ペルー
マーシャル
マレーシア
ミクロネシア
メキシコ
モルディブ
モンゴル
ラオス

## 「世界津波の日」2024高校生サミットin熊本に係るスタディツアー

- 時期：令和6年(2024年)10月21日(月)、22日(火)
- 訪問先：熊本城他、①球磨川流域方面、②阿蘇方面、③天草方面
- 参加者：海外参加者252名(高校生：210名、引率：42名)
- 概要：3班バス8台に分かれ、それぞれの訪問先において、防災・減災の学習や、地元高校生等との交流等を行う。

### <訪問先>

#### ③天草方面

##### 三角西港

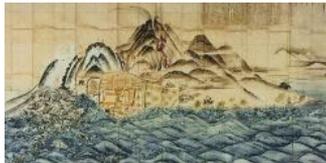


(出典) 宇城市 HP

##### 天草四郎ミュージアム



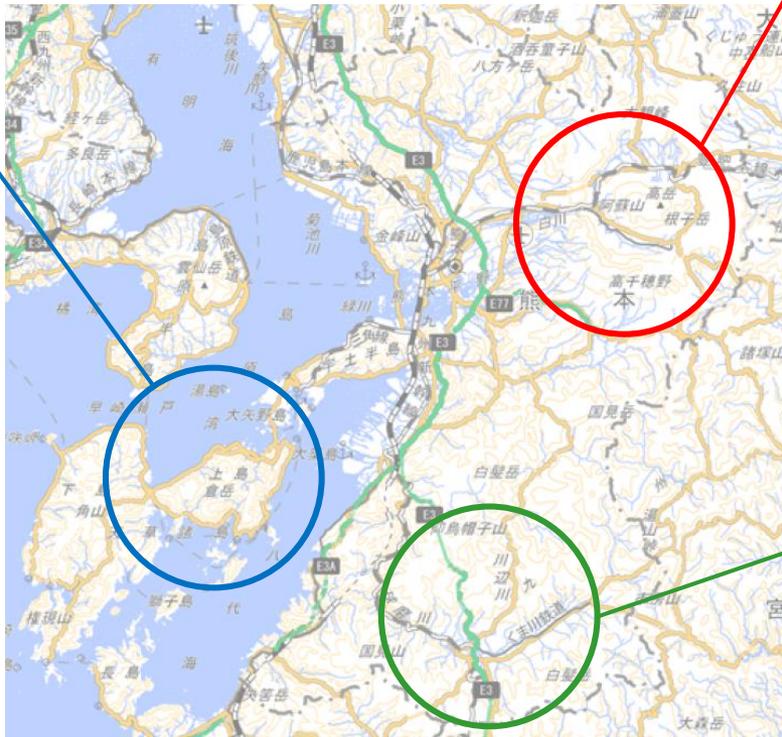
##### 島原大変講義



(出典) 肥前国嶋原津波之絵図(熊本大学永青文庫蔵)

#### 【現地学校交流】

宇土高校、上天草高校、天草高校



(出典) 国土地理院発行地形図

#### ②阿蘇方面

##### KIOKU(熊本地震震災ミュージアム)



##### 益城町 布田川断層帯 南阿蘇鉄道トロック列車



(出典) 益城町 HP



#### 【現地学校交流】

大津高校、阿蘇中央高校、高森高校

#### ①球磨川流域方面

##### 青井阿蘇神社



##### HASSENBA



#### 【現地学校交流】

人吉高校、南稜高校

##### 球磨村 語り部



(出典) アーカイブくまむら HP



(出典) 緑の流域治水 HP



# 防災推進国民大会2024の開催について

## ◆ 防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）とは

- 防災に取り組む多様な団体・機関が全国から集まり、それぞれの取組み・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベント
- 2日間にわたり、多くの団体・機関が参加し、防災に関する様々な講演、体験型ワークショップ、ブース展示、屋外展示等を実施

## ◆ 2024大会概要 ※九州初開催

- テーマ：復興への希望を、熊本から全国へ  
～伝えるばい熊本！がんばるばい日本！～
- 主催：防災推進国民大会2024実行委員会  
(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)
- 協力：熊本県、熊本市
- 開催日：令和6年(2024年)10月19日(土)10:00～18:00(予定)  
20日(日)10:00～15:30(予定)
- 会場：熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場
- 対象者：防災に関心のある方、学びたい方
- 入場料：無料
- 出展想定数：約400団体
- 出展タイプ：セッション、ワークショップ、ブース展示、  
ポスター展示、屋外展示、ステージ発表、  
出展団体オリジナル企画  
(現地出展+オンライン)

➡ 日本全国から1万人以上の来場が見込まれる

★詳細はコチラから→ ぼうさいこくたい2024公式サイト  
<https://bosai-kokutai.jp/2024/>



## ◆ 県・熊本市の取組内容

- 大会に向けた現地情報共有・連携会議の開催
- 主催セッション（パネルディスカッション）等の実施
- 熊本地震や令和2年7月豪雨災害の被災地を回る  
創造的復興見学ツアーの実施
- 大会の認知度向上や県内の機運醸成のための広報活動

## ◆ 開催までのスケジュール

- R6.3月 第1回現地情報共有・連携会議（14日）  
(大会概要説明・情報共有)
- R6.4月 【内閣府】出展者公募案内公表、公募説明会（22日）、  
出展者募集（～5/24）  
第2回現地情報共有・連携会議（25日）  
(団体の活動内容、関心のあるテーマ等の情報共有)
- R6.5月 第3回現地情報共有・連携会議（16日）  
(グループに分かれ企画内容を具体化)
- R6.7月 【内閣府】出展者決定
- R6.8月 【内閣府】出展者説明会①（2日）
- R6.9月 【内閣府】出展者説明会②（9日）  
第4回現地情報共有・連携会議（26日）  
(出展者からの企画内容共有)

<参考：2023大会の様子>



- 開催地：横浜国立大学（オンライン同時開催）
- 出展団体数：383団体、来場者数：約16,000人

# 防災推進国民大会2024 県・熊本市関係出展

## ◆ セッション

### (1) オープニングセッション〈主催：内閣府〉

19日(土)10:30~12:00	
セレモニー	くまモン、おもてなし武将隊
開会挨拶	内閣府防災担当大臣、防災推進協議会会長、熊本県知事、熊本市長
基調講演	元熊本県危機管理防災企画監 有浦 隆 氏

### (2) ハイレベルセッション〈主催：内閣府〉

19日(土)12:30~14:00	
テーマ	熊本地震とその後の復興と災害への備え(仮題)
登壇者(予定)	内閣府防災担当審議官 前熊本県知事 蒲島 郁夫 氏 元熊本市副市長 高田 晋 氏 熊本県内の防災及び共助の専門家、石川県支援関係者

### (3) 熊本県セッション

19日(土)14:30~16:00	
テーマ	被災者を支援する民(みんな)の力 ~平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨に学ぶ~
登壇者(予定)	跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏 (進行) NPO法人 益城だいすきプロジェクト・きままに 代表 吉村 静代 氏 医療法人 明佑会 峯 菅 医院 事務局長 皆吉 秀太 氏 フリーアナウンサー 武田 真一 氏 (一社)熊本県介護福祉士会 会長 石本 淳也 氏

### (4) クロージングセッション〈主催：内閣府〉

20日(日)14:30~15:30	
セレモニー	大会ダイジェスト映像、「世界津波の日」2024高校生サミット関係者メッセージ
閉会挨拶	内閣府防災担当副大臣、日本消防協会会長 等

※この他、熊本市セッションも実施予定

## ◆ ブース展示・屋外展示(県、熊本市関係)

	担当所属	出展内容
県	①危機管理防災課 循環社会推進課	・過去の災害の経験・教訓を踏まえた防災の取組 ・過去の災害時の災害廃棄物処理の取組
	②球磨川流域復興局	・「緑の流域治水」の取組 ・令和2年7月豪雨からの復旧・復興状況
	③技術管理課	・地籍調査に関する九州8県の取組
	④道路整備課	・10分・20分構想及び県内高規格道路の整備に関する取組(熊本市と共同出展)
	⑤建築課、住宅課、 砂防課	・「みんなの家」、熊本型木造仮設住宅の取組 ・過去に発生した土砂災害への対応・取組
	⑥健康福祉政策課、 医療政策課	・すまいの再建支援や個別避難計画等の取組 ・過去の災害時のDMAT・DWAT等の活動
	⑦観光国際政策課	・熊本地震震災ミュージアムKIOKUの取組
	⑧農村計画課	・田んぼダムの取組
	⑨警察本部 (屋外展示)	・警察車両、装備資機材 ・過去の災害時の活動状況
熊本市	①環境政策課	・生物多様性保全の取組(Eco-DRR)
	②市街地整備課	・防災及び帰宅困難者対策に関するクイズ
	③都市安全課	・宅地液状化防止の取組
	④消防局 (屋外展示)	・災害発生時の支援車両 ・災害を想定したVR体験

## ◆ 創造的復興見学ツアー

- 主 催：熊本県
- 趣 旨：熊本地震及び令和2年7月豪雨災害の被災状況や創造的復興の取組状況をより近い距離で体感いただく
- 開催日：10月21日(月)9:00~15:30(予定)

※ 詳細は次ページ参照

# 創造的復興見学ツアー 概要

- 主催：熊本県
- 趣旨：熊本地震及び令和2年7月豪雨災害の被災状況や創造的復興の取組状況をより近い距離で体感いただく
- 開催日：10月21日（月）9:00～15:30（予定）
- 訪問先：①熊本地震（阿蘇・益城）方面、②令和2年7月豪雨（人吉・球磨）方面（どちらかを選択）
- 参加者：大会参加者のうち希望する方（各方面35名、計70名程度）

## コース①：熊本地震（阿蘇・益城）方面

桜町バスターミナル

↓  
震災ミュージアムK I O K U、  
旧東海大学阿蘇キャンパス、



旧長陽西部小学校、  
数鹿流崩之碑 展望所



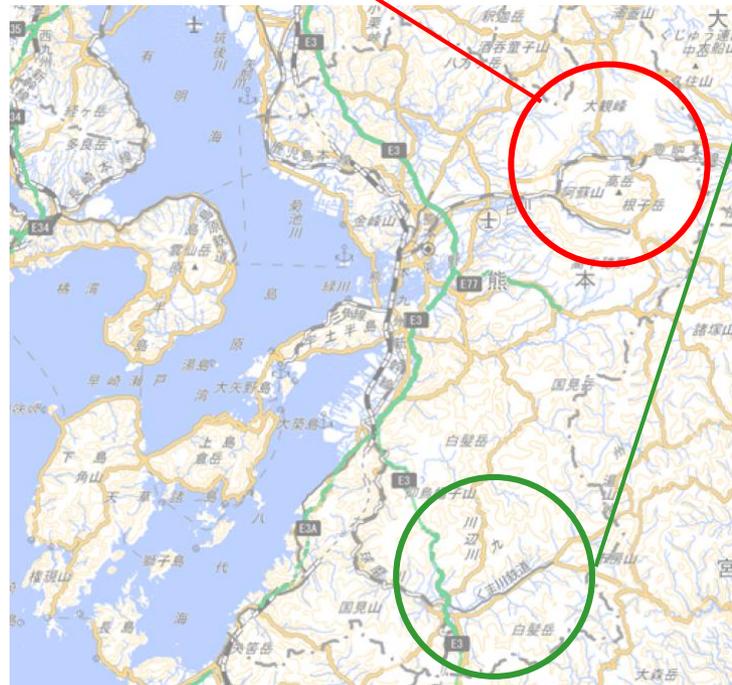
↓  
道の駅 あそ望の郷くぎの

↓  
益城町布田川断層帯



〔出典〕益城町 HP

↓  
桜町バスターミナル



〔出典〕国土地理院発行地形図

## コース②：令和2年7月豪雨 （人吉・球磨）方面

桜町バスターミナル

↓  
球磨村総合運動公園  
さくらドーム  
（球磨村災害語り部ガイド）



〔出典〕アーカイブくまむら HP

↓  
観光複合施設HASSENBA、



青井阿蘇神社周辺



↓  
桜町バスターミナル



内閣府

# ぼうさいこくたい

## 2024 in 熊本

みんなで  
行くモン!!



©2010 熊本県くまモン

第9回防災推進国民大会

復興への希望を、  
熊本から全国へ  
～伝えるばい熊本!  
がんばるばい日本!～



写真提供：熊本城聯合事務所

開催日 **10/19土・20日**  
10:00～18:00(予定) 10:00～15:30(予定)

開催場所 熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場

詳しくはWEBサイトで! [ぼうさいこくたい](#) 検索

入場・参加  
**無料**  
一部オンラインでも  
配信予定



主催：防災推進国民大会2024実行委員会（内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議）協力：熊本県・熊本市

併催  
イベント

「世界津波の日」2024  
高校生サミットin熊本

創造的  
復興見学ツアー



詳細は裏面を  
ご覧ください

## ぼうさいこくたい併催イベントのご案内

ぼうさいこくたいと連携して、開催地である熊本県が以下の2つのイベントを主催します。こちらもぜひご参加ください

### 創造的 復興見学ツアー

## 10/21月

#### プラン1 熊本地震（阿蘇方面）

桜町バスターミナル  
↓  
震災ミュージアム KIOKU、  
旧東海大学阿蘇キャンパス、  
旧長橋西部小学校、  
数産蒲原の碑 展望所  
(途中、昼食休憩)  
↓  
道の駅 あそ望の郷くぎの  
↓  
益城町布田川断層帯  
↓  
桜町バスターミナル



#### プラン2 令和2年7月豪雨（人吉・球磨方面）

桜町バスターミナル  
↓  
球磨村総合運動公園さくらドーム  
(球磨村災害復興部ガイド)  
↓  
昼食休憩  
↓  
観光複合施設 HASENBA、  
青井阿蘇神社周辺  
↓  
桜町バスターミナル



実施主体 主催：熊本県（危機管理防災課） 事務局：株式会社日本旅行熊本支店  
お問い合わせ 株式会社日本旅行 熊本支店 営業時間 平日 9:30～17:30(土日祝は休業)  
TEL:096-354-4480 Email: bousai-kumamoto2024@nta.co.jp



©2010 熊本県くまモン

熊本県は、ぼうさいこくたいで全国の防災関係者がお越しになるこの機会を活かし、熊本地震及び令和2年7月豪雨災害の被災状況や創造的復興の取組状況をより近い距離でご覧いただくことができるよう、被災地をめぐる見学ツアーを実施します。現地では、語り部等が被災当時の状況やその後の復興・復興の様子についてご説明し上げる予定です。被災地の取組について詳しく知る貴重な機会となりますので、皆様ぜひご参加ください。

詳細日程は  
こちらから  
<https://va.apollon.nta.co.jp/bousai-kumamoto2024/>

【金額】  
参加費には差代、雑費入場料、体験料をご負担いただきます。

【催行時間】  
催行時間は9時～15時30分を予定しております。

【定員】  
定員は各プラン35名程度(先着順)を予定しております。

【プラン】  
プラン1、プラン2のどちらかをお選びいただき、ご希望のプランに参加いただけます。

## 「世界津波の日」2024 高校生サミットin熊本

ライブ配信 (●●)

## 10/23 24

2024 WED THU



熊本地震や令和2年7月豪雨といった自然災害の経験や教訓を次世代へ継承し、将来の防災・減災のリーダーの育成と世界各国のさすなを一層深めることを目的に「世界津波の日」高校生サミットを開催します!

視聴をご希望の方は公式HPをご覧ください  
※会場での観覧はできません。



全体テーマ  
“熊本の教訓を世界へ、そして未来へ”  
～熊本地震や豪中豪雨など大規模自然災害を経験した熊本で、命を守る対策と創造的復興を学ぶ～

世界40カ国・地域、約500人の高校生が集い、自然災害から命を守るため、自分たちに何ができるかをディスカッションし、宣言文としてとりまとめ、総会・閉会式で報告します。

「世界津波の日」2024 高校生サミットin 熊本実行委員会（熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会）

# 令和6年度熊本県総合防災訓練の概要について

本県では、毎年度、総合防災訓練を実施（R3：日奈久断層地震、R4：阿蘇山噴火、R5：南海トラフ地震）しており、今年度は、1月の能登半島地震や8月の南海トラフ地震臨時情報を踏まえ、県内において甚大な被害が予想される「日奈久断層地震」をテーマに、沿岸14市町と①図上訓練（10月）、②実動訓練（12月）を、以下のとおり実施します。

特に、今年度は、R3訓練で課題となった天草地域の孤立対策をさらに磨き上げるため、当時の訓練後に使用協定を締結した九州電力苓北火力発電所の専用港（大型岸壁）を使用し、海上自衛隊の大型輸送艦にも標記訓練に参加いただくことが、本県で初めて実現します。

また、8月8日に発生した日向灘を震源とする地震により、南海トラフ地震への備えの重要性が高まっている状況を踏まえ、県内一斉のシェイクアウト訓練（全市町村を対象）や住民避難訓練（7市町）を実施し、命を守る行動を呼び掛けて参ります。

## 1 図上訓練

10月5日（土）8時00分～17時00分 ※予備日11月2日（土）  
 於：県防災センター2階 オペレーションルーム内 及び 参加14市町

### <訓練の流れ>

初動対応、孤立地域対応、浸水地域対応 ※住民避難訓練含む

時間	実時間		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	想定時間	月日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		10月5日							24h スキップ		6日	
県						図上訓練 (初動対応)						図上訓練 (孤立地域対応、浸水地域対応)
市町村				訓練準備(登庁完了) シェイクアウト訓練 訓練開始(地震発生)		沿岸14市町 (荒尾市、長洲町、玉名市、熊本市、宇土市、宇城市、水川町、八代市、芦北町、津奈木町、水俣市、上天草市、苓北町、天草市)	知事と市町長とのTV会議		訓練一時中断			(熊本市、八代市、芦北町、水俣市、上天草市、苓北町、天草市)
						住民避難訓練 (玉名市、熊本市、芦北町、水俣市、上天草市、苓北町、天草市)			態勢変換			
関係機関			訓練準備		逐次加入		図上訓練 (初動対応)					

〔訓練想定〕 日奈久断層帯を震源とする M7.9 の地震（震度7：8市町、震度6強：9市町村）

## <訓練参加者>

〔熊本県〕知事、副知事、知事公室長、危機管理監、  
防災担当職員、避難所関係・土木関係職員含む

〔参加市町〕沿岸14市町 市町長ほか担当職員

（荒尾市、玉名市、長洲町、熊本市、宇土市、宇城市、八代市、氷川町、  
水俣市、芦北町、津奈木町、天草市、上天草市、苓北町）

〔関係機関〕自衛隊、警察、消防、電力・通信事業者など70機関程度

※例年約1,000名が訓練に参加

## 2 実動訓練

12月19日（木）時間帯は調整中

於：天草市、上天草市、苓北町、水俣市

<訓練の概要> ※図上訓練（10/5）における検討内容を踏まえて実施



## 3 訓練の特徴

- ①図上訓練の詳細シナリオは、参加者に事前に明かさない「ブラインド型」で実施。
- ②実動訓練では、能登半島地震における課題も踏まえ、令和3年度の総合防災訓練後に使用協定を締結した九州電力苓北火力発電所内の大型岸壁を初めて使用して実施。
- ③本県では初めてとなる海上自衛隊の大型輸送艦が参加予定。  
搭載するホバークラフト艇（能登半島地震でも活躍）を活用した訓練も実施。

# くまもと新時代共創基本方針及び 総合戦略の概要について

## 1 方針等の位置づけ

### (1) くまもと新時代共創「基本方針」

- ・ 県政運営における最上位計画
- ・ 県の施策推進に関する大きな方向性を示すもの

### (2) くまもと新時代共創「総合戦略」

- ・ 「基本方針」の実現に向けて、具体的な施策や事業を取りまとめたもの

➔ (1) (2) が一体となって熊本県版デジタル田園都市国家構想総合戦略を構成し、  
地方創生の取組みを推進する

## 2 策定に向けた民間等からの意見聴取

### (1) 熊本県地方創生会議 (7月26日(金): ホテル熊本テルサ)

#### ① 会議趣旨

- ・ 地方創生の実現に向け、課題等の認識共有を図りながら意見を出し合い、それぞれが主体となって将来への取組みを推進する
- ・ 産業界、市町村、教育機関、金融機関、労働団体、報道機関等30団体で構成

#### ② 主な意見

- ・ 交通渋滞の解消に向けたすぐできる具体的な施策について、KPIを設定するなど、実効性のあるものにしていただきたい
- ・ 長期的な視点で付加価値が熊本の中に多く残るような展開が重要
- ・ 人手不足をどうするかという課題にしっかり取り組む必要がある
- ・ 水と緑の意識を高めるようなものを、計画の中に織り込んでほしい
- ・ こどもたちが自分の好きなことや得意なことを見極め、それを伸ばす教育が必要

### (2) とともに未来を創るワーキンググループ (第1回/6月12日(水): 県庁 第2回/9月10日(火): 県庁)

#### ① 会議趣旨

- ・ 各業界を牽引する若手管理者等から自由闊達かつ建設的な意見を求め、基本方針等の検討の参考とする
- ・ 各分野の第一線で活躍されている方13名と知事で構成

## ②主な意見

- ・子どもたちが、いかに、自分がやりたいことを見つけて、将来に希望を持てるようなことができるかが重要
- ・熊本全体がやさしい人たちで溢れるという教育のあり方を
- ・外部からの高度人材（海外も含む）が定着するには、イノベーティブな仕事の機会と高度な教育環境が必須
- ・政策を実現するには、民間との協働が重要
- ・KPIによる効果検証に当たっては、その時間軸も含め、測り方について知恵を絞る必要がある

## 3 基本理念と取組みの基本的方向性

### (1) 基本理念

県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる  
熊本の未来をともに創る  
～世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本～

### (2) 取組みの基本的方向性

- ①子どもたちが笑顔で育つ熊本
- ②世界に開かれた活力あふれる熊本
- ③いつまでも続く豊かな熊本
- ④県民の命、健康、安全・安心を守る

## 4 今後の予定

- |     |  |
|-----|--|
| 9月  | ・ 県議会で中間報告                                 |
| 10月 | ・ 県政パブリック・コメント手続き<br>・ 第10回熊本県地方創生会議（書面開催） |
| 11月 | ・ 意見反映、内容整理等                               |
| 12月 | ・ 県議会へくまもと新時代共創基本方針を提案<br>（総合戦略の策定についても報告） |

## くまもと新時代共創基本方針(案)の概要

### 1 策定の趣旨

#### <基本方針の位置付け>

- ・ 県政における最上位の方針。県政運営の基本的な考え方を示すもの。
- ・ 別に定める「くまもと新時代共創総合戦略」と合わせて「熊本県版『デジタル田園都市国家構想総合戦略』」を構成し、地方創生の取組みを推進。

#### <期間>

令和6年度(2024年度)～令和9年度(2027年度)

### 2 取り巻く環境の変化

#### (1) 人口の動向

少子化と人口減少

#### (2) 半導体関連産業の更なる集積

TSMCの県内進出と半導体関連産業の更なる集積

#### (3) 海外との交流の加速化

訪日旅行者及び外国人住民の増加

#### (4) 災害からの復旧・復興、災害に強い県土づくり

熊本地震、令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

#### (5) デジタル化の進展

社会のデジタル化と国、熊本県における取組み

#### (6) SDGsの浸透

SDGsの意識浸透と県内登録事業者の拡大

### 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の成果と課題(R2～R5)

- (成果)
- ・ 熊本地震及び令和2年7月豪雨災害からの創造的復興
  - ・ 新型コロナへの対応と産業の振興、地域活性化
  - ・ TSMCの県内進出に伴う周辺環境の整備

(課題) ・ 少子化、人口減少の進行

### 5 緑の流域治水の推進と五木村・相良村振興、水俣病問題への対応

#### (1) “命と清流を守る”緑の流域治水の推進と五木村・相良村振興

- ・ 流域全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」の推進
- ・ “命と清流を守る”新たな流水型ダムの整備推進
- ・ 流水型ダムの建設により影響を受ける五木村・相良村の振興

### 3 基本理念

**県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来をともに創る**  
～世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本～

- ・ 国の経済安全保障政策の中核となる世界的な半導体関連企業の進出も踏まえ、地域活力の創生に向けた取組みを推進。
- ・ 熊本県の強み(農林畜水産業、バランスの取れた産業、自然環境、防災力等)を更にステップアップさせ、世界に挑戦する県、「くまもと新時代」を目指す。
- ・ 地域活力に不可欠な「人材」の育成と、個性と力を発揮できる「活躍の場」を創出、さらなる「人材」の流入も促進。
- ・ こうした考えに基づき、「県民が主人公の県政」を進める。

共創

人材

国際

### 4 取組みの基本的方向性

実現

#### 1 こどもたちが笑顔で育つ熊本

幼児教育・保育の質の向上、結婚・妊娠・出産・子育てが安心してできる環境の整備、教育環境の整備、個性を伸ばす教育 等

#### 2 世界に開かれた活力あふれる熊本

半導体関連産業の集積、「食のみやこ熊本県」の創造、人材確保・育成、スポーツ・観光・文化芸術の振興 等

#### 3 いつまでも続く豊かな熊本

自然環境の保全、移住定住の推進、魅力ある地域づくり、多様性を認め合う社会 等

#### 4 県民の命、健康、安全・安心を守る

創造的復興と「緑の流域治水」の推進、災害に強い県土づくり、健康長寿な社会、安全安心の地域づくり 等

#### (2) 水俣病問題への対応

- ・ 公健法に基づく認定審査 ・ 被害に遭われた方々に対する療養の支援、日常生活の支援
- ・ 地域の融和対策の推進と水俣病の経験や教訓の発信、継承 ・ 健康調査についての国への要請
- ・ 水俣・芦北地域振興計画に基づく振興施策

# くまもと新時代共創総合戦略（案）の概要

## 「基本方針」に基づく施策の具体化

### <総合戦略の位置付け>

別に定める「くまもと新時代共創基本方針」を具体化するための施策、取組み等を取りまとめたもの。

### <期間>

令和6年度（2024年度）～令和9年度（2027年度）

### <施策・取組み>

<p><b>1 こどもたちが笑顔で育つ熊本</b> <b>（施策1）こども・若者がキラキラ輝く社会づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①「こどもまんなか熊本」の実現とこども・若者のライフステージに応じた支援</li><li>②特に支援が必要なこどもへの支援</li></ul> <p><b>（施策2）家庭や子育てに夢を持てる社会づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①希望を叶える結婚・妊娠・出産への支援</li><li>②あらゆる家庭のニーズに応じた子育て支援</li></ul> <p><b>（施策3）質の高い教育・未来を担う人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①変化の激しい時代に対応した教育の推進</li><li>②インクルーシブ教育システムの推進と多文化共生社会の実現</li><li>③郷土に対する誇りや愛着を持ったグローバル人材の育成</li><li>④県立高校の魅力向上</li><li>⑤私学の振興</li></ul>	<p><b>2 世界に開かれた活力あふれる熊本</b> <b>（施策1）「くまもとで働く」人材の確保・育成</b> <b>（施策2）世界に伍する産業拠点熊本の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①半導体に立脚した新たな産業基盤の構築</li><li>②「くまもと版スタートアップ・エコシステム」の創出</li><li>③地域経済の振興 ④DXの推進</li><li>⑤ビジネスの国際化・国際交流の促進</li></ul> <p><b>（施策3）「食のみやこ熊本県」の創造</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①農林畜水産業の担い手確保・育成</li><li>②稼げる農林畜水産業の実践</li><li>③食育の推進・食文化の発展</li></ul> <p><b>（施策4）スポーツ、観光、文化芸術の振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①スポーツ政策の推進</li><li>②観光振興 ③文化・芸術の振興</li></ul> <p><b>（施策5）交通の利便性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①交通渋滞解消 ②交通体系の見直し</li><li>③熊本空港の活性化</li></ul>	<p><b>3 いつまでも続く豊かな熊本</b> <b>（施策1）豊かな自然の保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①水資源をはじめとした環境保全</li><li>②ゼロカーボン社会及び循環型社会の推進</li></ul> <p><b>（施策2）移住定住、関係人口創出</b> <b>（施策3）魅力ある地域づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①市町村との連携強化・地域特性を踏まえた地域振興</li><li>②地域における移動手段の確保</li></ul> <p><b>（施策4）社会の多様性</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①人権教育・啓発の推進</li><li>②男女共同参画社会の推進</li><li>③動物愛護の推進</li></ul>	<p><b>4 県民の命、健康、安全・安心を守る</b> <b>（施策1）「緑の流域治水」を核とした創造的復興</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①「緑の流域治水」の更なる推進による一日も早い安全・安心の実現</li><li>②若者が“残り・集う”産業・雇用の創出</li></ul> <p><b>（施策2）災害に強い県土づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①防災力の強化</li><li>②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備</li></ul> <p><b>（施策3）健康で長寿な社会の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①人生100年時代の充実に向けた体制づくり</li><li>②地域共生社会の実現</li><li>③健康危機に強い熊本</li></ul> <p><b>（施策4）安全・安心の地域づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①各種防犯対策の推進</li><li>②犯罪被害者支援</li><li>③交通安全意識の普及啓発の促進</li><li>④消費者被害の未然防止</li></ul> <p><b>（施策5）水俣病問題への対応</b></p>
---	---	--	---

## くまもと新時代共創基本方針・総合戦略策定に向けた今後のスケジュールについて

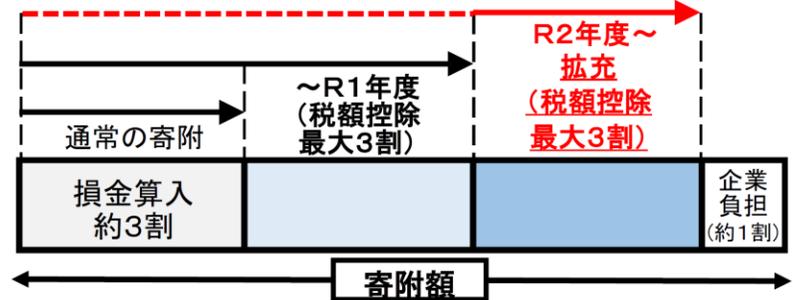
9月議会	・委員会での中間報告（概要等）	
10月	・県政パブリック・コメント（30日間）	・第10回熊本県地方創生会議（書面開催）
11月	・各種意見反映	
12月議会	・議決を要する事件として県議会へ議案提案	・委員会での報告

# 企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

## 制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
  - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
  - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への経済的な見返りは禁止
- 寄附額は事業費の範囲内とすることが必要
  - ※ 以下の地方公共団体は対象外。
    - ①不交付団体である東京都
    - ②不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村
  - ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。

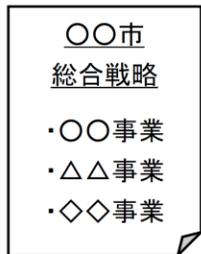


例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減。

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

## 活用の流れ

①地方公共団体が  
地方版総合戦略を策定



②①の地方版総合戦略を  
基に、地方公共団体が  
地域再生計画を作成



④寄附



⑤税額控除

企業が所在する自治体  
(法人住民税・法人事業税)



国  
(法人税)

◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数: 46道府県1,613市町村(令和6年8月19日時点)

# 令和5年度寄附受入実績（分野ごと）

NO.	寄附対象分野	件数	寄附金額(千円)
1	令和2年7月豪雨からの復旧・復興	3	21,210
2	熊本地震からの復旧・復興	4	24,718
3	地方創生の取組全般	15	13,963
4	阿蘇草原再生	6	6,639
5	阿蘇の世界文化遺産登録の推進	2	1,170
6	地域の雇用創出	6	3,500
7	地方創生推進プロジェクト	12	8,100
8	子どもへの支援	20	82,000
9	カーボンニュートラル	1	1,000
10	交通安全事業	1	200
11	動物愛護	1	200
12	プロスポーツ支援	2	20,000
13	健康づくり県民運動推進事業	1	20,000
14	地球温暖化対策	1	9,073
15	フードバリューチェーン最適化推進の取組	1	6,772
16	熊本の発展の加速化と魅力の向上に資する事業	1	100
合計		77	218,644

※金額は千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

# 令和5年度寄附充当事業一覧（令和5年度寄附受入分）

NO.	事業名	備考 (デジタル田園都市国家構想交付金プロジェクト名)	分野	充当額 (千円)
1	阿蘇草原再生事業	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	阿蘇草原再生	2,639
2	持続可能な草原維持システム構築推進事業			4,000
3	世界文化遺産登録推進事業 (阿蘇世界文化遺産登録推進事業)		熊本地震 阿蘇の世界文化遺産登録の推進	13,888
4	地域未来モデル事業 (フードバレー地域農産物活用拠点強化事業)	地域の農林水産業を元気に！くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト	令和2年7月豪雨災害	29,773
5	阿蘇くまもと空港創造的復興推進事業	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト	熊本地震	13,000
6	テレワーク推進体制強化事業	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト	地域の雇用創出	2,800
7	県立高校魅力化きらめきプラン		地方創生推進プロジェクト	1,500
8	県産あさり流通推進事業	熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト	地方創生推進プロジェクト	2,000
9	教育旅行誘致推進事業	地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト	令和2年7月豪雨災害	400
10	台湾インバウンド誘客強化事業			1,600
11	熊本県半導体人材育成会議等活動事業	シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト	地方創生推進プロジェクト	1,600
12	県立高校半導体関連人材育成事業			5,100
13	熊本県総合エネルギー計画推進事業		カーボンニュートラル	1,000

# 令和5年度寄附充当事業一覧（令和5年度寄附受入分）

NO.	事業名	備考 (デジタル田園都市国家構想交付金プロジェクト名)	分野	充当額 (千円)
14	こども図書館事業		こどもへの支援	8,400
15	放課後児童クラブ利用サポート事業		こどもへの支援	300
16	放課後児童クラブ施設整備事業		こどもへの支援	500
17	ひとり親家庭等医療費助成事業		こどもへの支援	800
18	子ども食堂等応援事業		こどもへの支援	800
19	地域療育総合推進事業		こどもへの支援	800
20	産業教育設備整備事業		こどもへの支援	1,000
21	交通安全特別啓発事業		交通安全事業	200
22	動物愛護推進事業		動物愛護	200
23	2050くまもとゼロカーボン推進事業		地球温暖化対策	69
24	環境立県推進課派遣	※企業版ふるさと納税(人材派遣型)活用分	地球温暖化対策	9,004
25	流通アグリビジネス課派遣	※企業版ふるさと納税(人材派遣型)活用分	フードバリューチェーン 最適化推進の取組	6,772
小計				108,144
■基金積立				
1	産業教育設備整備事業		こどもへの支援	70,000
2	健康づくり県民運動推進事業		健康づくり県民運動 推進事業	20,000
3	プロスポーツによる地域活性化事業		プロスポーツ支援	20,000
4	熊本県農林水産業のブランド力・生産力・流通力の向上の取組み		地方創生推進プロジェクト	500
合計				218,644

※金額は千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

# 令和5年度寄附充当事業一覧（令和4年度寄附受入分） ※基金取崩し

基金名	取崩し額(千円)
ふるさとくまもと応援寄附基金	18,600

NO.	事業名	備考	分野	充当額 (千円)
1	くまもと県産農産物ネットワーク構築事業		食の供給機能強化	250
2	企業の農業参入トータルサポート事業		食の供給機能強化	350
3	プロスポーツによる地域活性化事業		プロスポーツ支援	10,000
4	こども図書館事業		こどもへの支援	8,000
合計				18,600

# 地域未来創造会議の今後の進め方について(準備会議の結果を踏まえた対応)

総務常任委員会報告資料⑤  
令和6年9月議会 地域振興課

- 45市町村との連携を強化し、地域ごとの個性ある経済振興を推進するため「地域未来創造会議」の開催を検討。
- 7月から8月にかけて、地域振興局単位で準備会議を開催し、各市町村と開催方法や内容等について議論した。
- 準備会議での議論を踏まえ、会議の内容を次のとおりとし、10月以降、地域毎に順次開催していく。

## 目的

知事と市町村長等が地域の未来像を描き、その実現に向けて県・市町村が連携して取組みを進める。

## 役割

- 地域の未来像を描く
- 地域の未来像実現に向けた取組みの推進  
広域本部・地域振興局と市町村の連携の更なる強化

### 準備会議

#### 県から提示した案

出席者：知事、市町村長、県議会議員、民間事業者(ゲスト)

開催単位：地域振興局単位

内容：(1) 市町村長からの意見  
(2) 民間事業者の事例紹介  
(3) 意見交換

#### 市町村長や県議会議員からの御意見等

- ・ 市町村長と知事で率直な意見交換ができる環境を重視する意見が多かった。  
また、同様の観点から、県議会議員はオブザーバーとしての参加が良いという意見もあった。
- ・ 地域振興局単位で開催することに賛同する意見が多かった(より広域での開催も希望する意見もあった。)
- ・ 地域ごとにテーマの設定を求める意見があった。
- ・ 知事が考える各地域の未来像を聞きたいという意見があった。
- ・ 関係市町村と県で事前に調整した後、開催したいという意見があった。

### 令和6年度

出席者：知事、市町村長、県議会議員(オブザーバー)

開催単位：地域振興局単位

内容：

- (1) 知事が①当該地域への想い、②当該地域のポテンシャル、③当該地域に期待すること等を語る
- (2) 各市町村長から、(1)を受けての所感や、地域の将来についての自らの想い等を語っていただく
- (3) (1)、(2)を踏まえ、各市町村長と知事が地域の将来について、発展の方向性やそのための取組み等を議論する  
※ 必要に応じてテーマを設定

開催時期：令和6年度下半期で調整

その他：

- (1) 令和6年度は非公開とし、後日、概要を県ホームページ等にて公表
- (2) 熊本市との会議は渋滞対策等の個別協議の状況を踏まえて検討
- (3) 令和6年度の会議での議論を基に、令和7年度以降の会議内容等を調整

# 熊本県デジタル化推進計画(素案)の概要

総務常任委員会報告資料⑥  
令和6年9月議会 デジタル戦略推進課

## I 熊本県デジタル化推進計画について

- 熊本県情報化推進計画の期間(令和3年度～令和5年度)満了に伴い、県全体のデジタル化を全庁的に更に推進するための新たな計画を策定。
- 本計画の期間は令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)の5年間。

## II 計画の基本的な考え方

### 基本理念

人口減少による人材不足をはじめとする**様々な地域課題を解決**し、将来にわたって**熊本県の強みを生かした地域活力を創出し続ける**ため、県全体であらゆる分野におけるデジタル化、DXを推進

### 目指す姿

(1)産業発展・所得向上の実現  
各産業でのデジタル技術の活用により生産性向上等を実現

(2)快適・安心な生活環境の実現  
デジタル技術を積極的に活用し、快適・安心な生活環境を実現

### 横断的な 重点取組事項

(1)デジタルデータの活用

(2)AI等新たなデジタル技術の活用

## III 今後の取組み

### 1 産業発展・所得向上の実現

#### (1)生産性の向上(業務効率化、省人化等)

- ◎デジタル技術の導入支援、活用方法に関する理解向上
- ◎技術の活用方法に関する研究・開発と、知見の外部提供

#### (2)新たな付加価値の創出(品質向上、生産量増加、収益向上等)

- ◎デジタル技術・データ活用の促進
- ◎データを活用した生産技術等の研究・開発と、知見の蓄積・提供
- ◎デジタル人材の育成、確保

### 2 快適・安心な生活環境の実現

#### (1)医療・介護・福祉の推進

- ◎ICT・ロボット等の導入支援、時間と場所を問わない相談対応
- ◎医療情報の共有による質の高い医療サービスの提供

#### (2)防災・災害対策

- ◎国・自治体による一体的な情報伝達、情報共有体制の整備
- ◎県民、市町村への災害危険性に関するデータの公開
- ◎避難情報、生活支援情報及び避難所運営のデジタル化

#### (3)住民利便性の向上

- ◎行政手続のオンライン化、手数料収納等のキャッシュレス化
- ◎行政手続等でのマイナンバーカードの利活用推進

#### (4)教育環境の整備

- ◎1人1台端末を活用した学び、学習データ等に基づく個別最適な学びの推進、遠隔授業の推進
- ◎大学等と連携したデジタル教育の推進

### 3 施策の前提となる県の取組み

#### (1)デジタル環境の整備、デジタル化に係る理解向上

- ◎情報通信基盤の整備、データ連携基盤の運用、セキュリティの確保
- ◎DX機運の醸成、県職員のDX理解の向上

#### (2)県行政におけるデジタル化の推進

- ◎業務プロセス改革・働き方改革、情報システムの整備

#### (3)市町村DXの支援

- ◎デジタル人材派遣等による体制構築・技術導入支援

## IV 計画策定に向けた今後のスケジュール

9月:県議会で中間報告

10月:県政パブリック・コメント

11月:意見反映、内容整理等

12月:県議会報告、策定

# 緑の流域治水の推進と五木村・相良村の振興について

## 1 「緑の流域治水」の主な取組状況

### (1) 新たな流水型ダム環境アセスメントの進捗状況

・9月24日、国の「流水型ダム環境保全対策検討委員会」が開催。適切な環境保全措置や地域住民等への丁寧な説明の実施等を求めた国土交通大臣意見全てに対応されることが示された。

・今後、国において最終段階となる「環境影響評価レポート【補正後】」が作成・公表され、手続きが完了することとなる。

・また、更なる環境への影響の最小化に向けた環境保全措置の具体化等のため、新たに技術検討会を立ち上げることも示された。



### (2) 球磨村渡地区遊水地事業の着工式について

日時：令和6年8月24日  
 場所：球磨村さくらドーム  
 主催：国土交通省 八代河川国道事務所 熊本県、球磨村  
 内容：来賓祝辞、鍬入れ等



### (3) 人吉市「緑の流域治水」に関する職員研修会について

日時：令和6年9月4日  
 場所：人吉市役所 保健センター  
 出席者：人吉市職員約150名  
 説明内容：

- ・「緑の流域治水」に基づく創造的復興の全体像について (県)
- ・河川整備計画の内容と効果及び事業進捗状況について (国・県)
- ・新たな流水型ダムについて (国)
- ・市房ダムについて (県)



## (4) 上下流交流について

- ・8月24日、相良村、人吉市の小学生を対象に、川の役割や特徴、川の利活用の仕方、河川環境等について学ぶことを目的として、「川辺川で学ぼう！2024」を、国と共同で開催。
- ・当日は、小学生16名、保護者11名、合計27名が、水生生物調査、川遊び体験に参加。



8/24 上下流交流会

## 2. 五木村・相良村の振興について

### <五木村>

- ・7月16日、『「ひかり輝く」新たな五木村振興計画』の一部改訂等に関する確認式』を開催。村、県、国の三者で、流水型ダムを前提とした新たな五木村振興をスタートさせることを確認。
- ・8月には、村主催の7回の行政座談会に、国・県・村からも参加。村民の皆様へ計画改訂について説明し、御意見を直接伺った。



7/16 “ひかり輝く” 新たな五木村振興計画 確認式

### <相良村>

- ・7月24日、川辺川(平川地区)の河川整備についての住民説明会を開催し、6月の緑の流域治水説明会で頂いた「川辺川の河川環境を残し、景観に配慮してほしい」「河畔林が残れば良好な河川環境が保持できる」とのご意見を踏まえ、できるだけ河畔林を保全する内容に見直した計画等をお示しした。
- ・8月8日、国道445号(深水地区)バイパス整備では、住民説明会を開催し、整備スケジュール等をお示しした。
- ・また、農業基盤整備や企業誘致に向けた具体的な協議を行った。
- ・引き続き、国・県・村が一体となり、村民の皆様の御意見を十分お聴きしながら、時間的緊迫性を持って両村の振興に取り組んでいく。



7/24 平川地区河川整備説明会

## 3. 令和2年7月豪雨からの新時代共創復興プラン(仮称)について

- ・「復旧・復興プラン」に掲げている基本理念や目指す姿は継承しつつ、現在の地域の実情を踏まえ、地域の意見を伺いながら、今後4年間で重点化する取組みに改訂。
- ・「新時代共創復興プラン」として年内に公表予定。

### 令和2年7月豪雨からの新時代共創復興プラン (イメージ)

#### I 「緑の流域治水」の更なる推進による 1日も早い安全・安心の実現

【「緑の流域治水」の推進】

【すまい・コミュニティの創造】

【災害に強い社会インフラ整備】

#### II 若者が“残り・集う”産業・雇用の創出

【観光を軸とした創造的復興の実現】

【地域の特色を活かした産業活性化と雇用の創出】

【若者が定着・還流する環境の創造】